

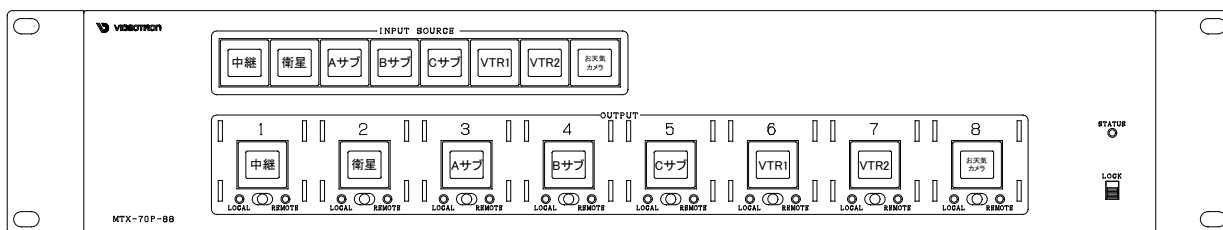
# MTX-70P-88

MTX-70P-88 は MTX-70-88 と組み合わせて使用するマトリックススイッチャー操作パネルです。キートップに最大 8 文字の漢字表示が可能で、パネル上でクロスポイントの設定が一目瞭然です。一台の MTX-70-88 に対して、MTX-70P-88 を最大 8 台まで接続することができます。

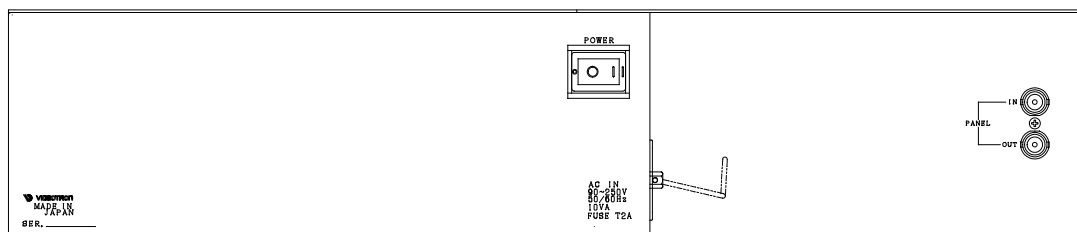
## ■特長

- ✓ パネルのキートップに漢字で最大 8 文字の表示が可能 ※1
- ✓ パネルのキートップのデザインはユーザーで任意にカスタマイズ可能 ※2
- ✓ 出力のチャンネル毎、または入力のチャンネル毎にバックライトの発光色を指定することが可能
- ✓ キートップのデザイン／発光色は専用のツールで、MTX-70-88 本体に記録するので、パネルの増設も簡単
- ✓ 一台の MTX-70-88 に対して、MTX-70P-88 を最大 8 台までカスケード接続可能
- ✓ カスケード接続時に中間のパネルの電源が切れても、その他のパネルは操作可能(エマージェンシーバイパス機能)
- ✓ 出力チャンネル毎にリモート／ローカルの設定が可能
- ✓ オプションで、任意の出力チャンネルに誤操作防止のスイッチカバーを取り付け可能
- ✓ パネル全体の操作を禁止する LOCK スイッチも搭載

※1 漢字8文字表示は2行で表示します。 ※2 MTX-70-88に付属のCDROMIに含まれるアプリケーション「ボタンエディット」を使用します。PCとVbus-70B、Vbus-70C筐体をネットワークで接続し、MTX-70-88に設定を登録します。



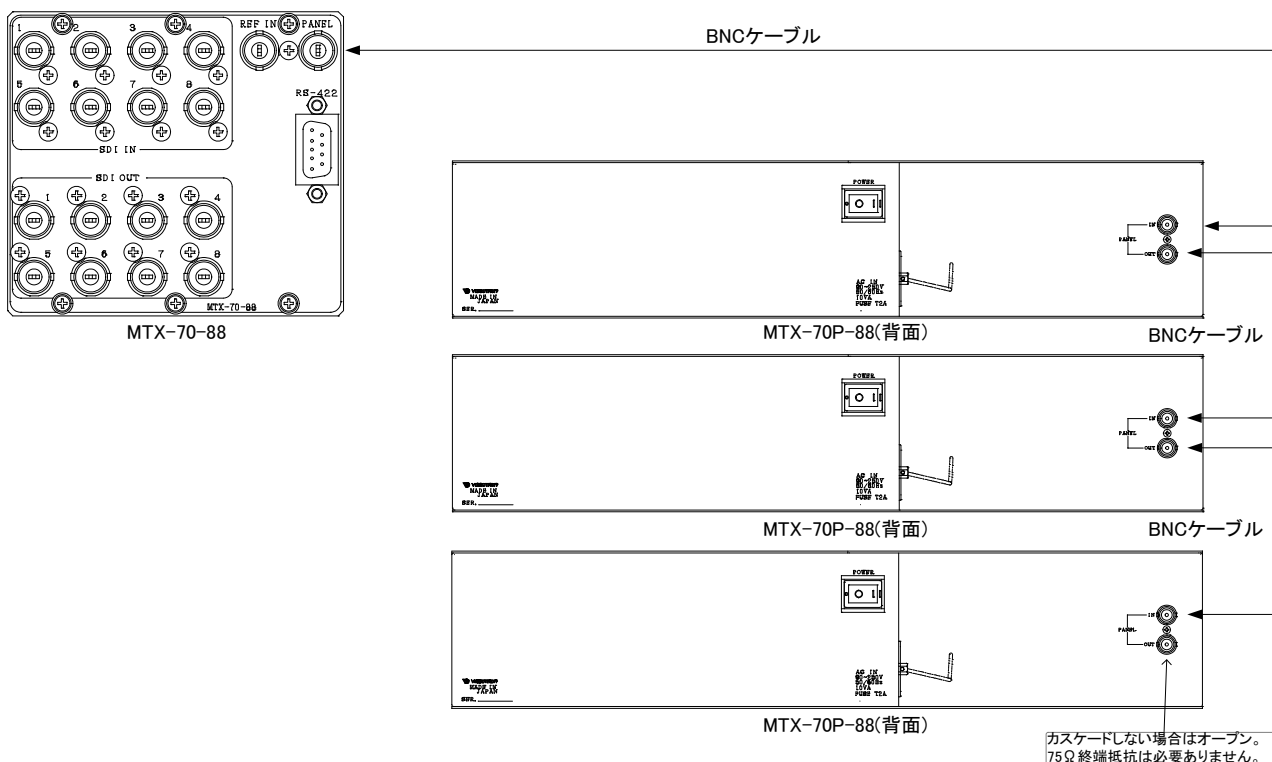
正面図



背面図

## 接続図

MTX-70P-88 を 3 台カスケード接続した場合の接続図です。



## ボタンエディット

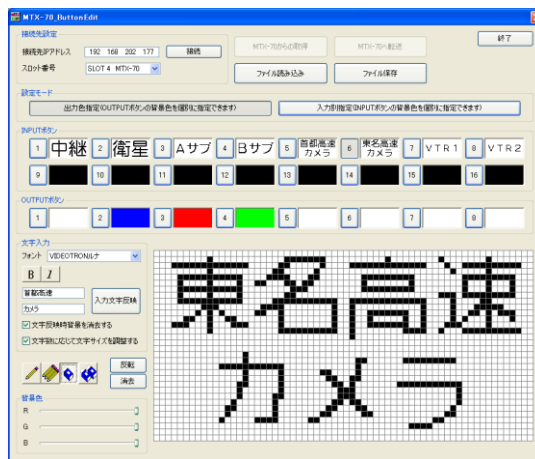
MTX-70-88 をご購入いただくと、付属の CDRROM にアプリケーションソフト「ボタンエディット」が付いております。

「ボタンエディット」を使用すると、MTX-70P-88 に任意の文字を表示させることができます。

文字の登録は「ボタンエディット」をインストールした PC と MTX-70-88 を実装した Vbus-70B、Vbus-70C 筐体をネットワーク接続して行います。エディットしたデータは MTX-70-88 に保存されますので、電源を入れる度にデータを転送する必要はありません。データを保存した MTX-70-88 と MTX-70P-88 を BNC ケーブルで接続すると、自動的に MTX-70P-88 に文字情報が転送されます。MTX-70P-88 を増設する際も、セットアップの必要は無いので簡単です。エディットしたデータを PC のハードディスクにバックアップすることもできます。また、バックライトの発光色を、入力チャンネル毎、あるいは出力チャンネル毎に指定することができます。「ボタンエディット」は Windows アプリケーションです。フォントは、Windows OS にインストールされたトウルネータイプフォントがご使用頂けます。



【ボタンの表示例】



【ボタンエディット】

## 機能

クロスポイント設定	<p>クロスポイントの切り換え方法は下記の四通りあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入力ソースを選択してから、出力先のチャンネルを選択する。</li> <li>2. 出力先のチャンネルを選択してから入力ソースを選択する。</li> <li>3. 出力先のチャンネルを押しながら入力ソースを連続して選択する。</li> <li>4. 出力保持モードで、入力ソースを連続して選択する。</li> </ol>
REMOTE/LOCAL切り換え	<p>出力チャンネル毎にリモート/ローカルの設定ができます。スイッチの操作で、下記の四通りの設定が可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. REMOTE ON、LOCAL OFF リモート制御のみで手動制御は不可です。</li> <li>2. REMOTE OFF、LOCAL ON 手動制御のみで、RS-422 によるリモート制御は禁止します。</li> <li>3. REMOTE ON、LOCAL ON リモート制御、手動制御ともに有効です。</li> <li>4. REMOTE OFF、LOCAL OFF リモート制御、手動制御ともに禁止です。変更禁止設定です。これらの設定は、カスケードしている MTX-70P-88 全てに連動します。</li> </ol>
STATUSランプ	<p>MTX-70-88 と接続して、操作可能状態の時緑色に点灯します。操作不能の時、橙色点滅します。</p>
LOCKスイッチ	<p>MTX-70P-88 の操作を禁止にします。カスケードしている、その他の MTX-70P-88 には連動しません。</p>
文字表示設定	<p>デフォルトで入力ソースボタンに 1~8 の数字が表示されますので、工場出荷状態でもご使用頂けます。ボタンエディットでスイッチの表示をカスタマイズすることで操作性が向上します。漢字は 2 行表示で最大 8 文字。英数半角では、16~18 文字程度まで表示可能です。</p>
ボタン発光色設定	<p>ボタンの発光色は、ボタンエディットを使用してカスタマイズできます。ボタンの発光色の表示方法は二通りあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入力チャンネル毎に発光色を指定する方法 入力チャンネル毎に発光色を指定した場合は、その入力チャンネルを選択している出力チャンネルにも発光色が反映されます。</li> <li>2. 出力チャンネル毎に発光色を指定する方法 出力チャンネル毎に発光色を指定した場合は、クロスポイントが変化しても入力、出力チャンネルの発光色は変化しません。</li> </ol>
入力INHIBIT設定	<p>指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。設定はパネル単体に保持され、カスケードしている他のパネルには連動しません。</p>
カスケード機能	<p>一台の MTX-70-88 に対して、MTX-70P-88 を最大 8 台までカスケード接続できます。操作は全て連動します。各 MTX-70P-88 間の接続は、3C2V のケーブルで 100M まで伸ばすことができます。</p>
エマージェンシーバイパス機能	<p>カスケード接続の際、中間の MTX-70P-88 の電源が切れても、エマージェンシーバイパス機能が働き、後段の MTX-70P-88 の制御は可能です。</p>
スイッチカバー(オプション)	<p>MTX-70P-88 の出力ボタンに、誤操作防止用のスイッチカバーを付けることができます。緊急時に取り外しが可能な構造です。</p>

## 構成

MTX-70-88(別売)	8×8マトリックススイッチャー
MTX-70P-88	8×8対応マトリックススイッチャーパネル 漢字表示機能付き
MTX-70P-01(オプション)	パネルスイッチカバー1個 誤操作防止用。OUTPUTの各ボタンに取り付け可
GPI-70B(オプション)	GPIインターフェイス 16パターンのプリセットを16本の接点で切り替え
USB-422(オプション)	USB⇄RS-422変換機 PCでRS-422制御する時使用

## 定格

外部 I/F	
・ PANEL IN	2V <sub>p-p</sub> /75Ω、BNC 1系統
・ PANEL OUT	2V <sub>p-p</sub> /75Ω、BNC 1系統
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(ただし結露なき事)
電源	AC100～240V±10%、50/60Hz
消費電力	10VA
質量	1.7kg
外形寸法	420(W)×88(H)×88(D)mm(突起物含まず)

## 性能

外部 I/F	
・ PANEL IN	100m/3C2V
・ PANEL OUT	100m/3C2V
最大カスケード接続台数	8台

※エマージェンシーバイパス機能は機械リレーを使用している関係で、連続して複数のパネルの電源が同時に切れた場合の動作保障は致しかねます。

## 外形図

